

特集 輝く仲間たち (第25回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。
今回は、「富竹新田3区自主防災会」です。

「ためらわず 命を守る行動を」

富竹新田3区自主防災会とは

2018年4月に自主防災会を創設、防災士5名、地域防災リーダー6名、推進委員22名で活動しています。住民の隣保協同の精神に基づき、自主的な防災活動を行うことにより、地震、水害、その他の災害による被害の防止と軽減を目的としています。

活動内容は

活動内容は大きく5つあり、一つ目が防災知識・技術の普及、並びに防災意識の啓発に関する活動、二つ目が地震等災害による被害を防ぐための活動、三つ目が地震等災害発生時の情報収集・伝達、初期消火、避難誘導、救出救護、四つ目が防災訓練の実施に関する活動、五つ目が、防災資機材等の点検及び整備に関する活動を行っています。

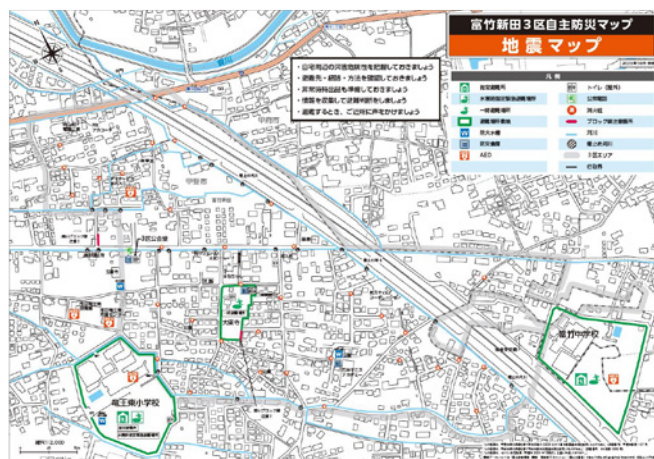
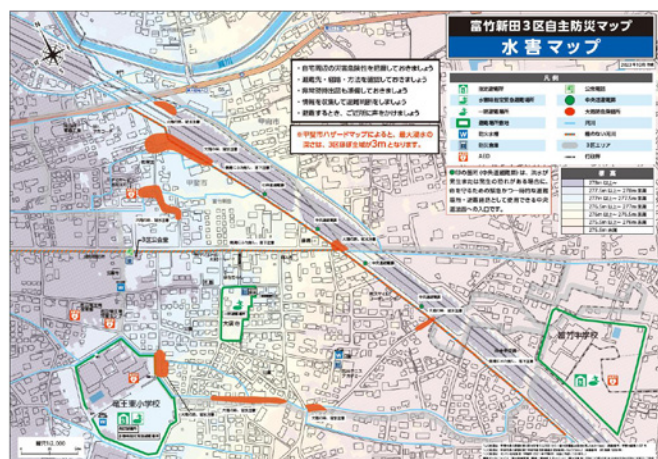


自主防災マップ説明会

マップ作成の目的と経緯

富竹新田3区が地震や水害に見舞われたとき、被害を防ぎ、避け、また避難の際に区民に知ってほしいことを一覧にしたマップを作成しました。マップを作ったのは、富竹新田3区自主防災会です。防災会は、地域の防災・減災に関心のあるメンバーが集まって組織するグループです。

防災・減災のため、まず地域のことを知ることから始めようと、富竹新田3区を見て回る「まち歩き」を続けてきました。主な施設や注意場所等をピックアップし落とし込んで地震マップと水害マップを作成しています。



防災マップ説明会

富竹新田3区全家庭（500世帯）に「防災マップ」を配布後、説明会を開催しています。区内では、毎月1回有価物回収を行っており、回収当番は各組を12か月に分けて1年に1回必ず回ってくるので、その際に説明会を開催しています。日頃の備えの大切さを知ってもらい災害時に役立ててもらいたいです。

自主防災会、学習会について

定例で毎月1回有価物回収の日の10時から12時、公会堂で学習会を実施しており、自助・共助など近所の必要性や大切さについて学んでいます。

また、防災訓練や情報交換を通じて、地域の防災力を高め、災害時に救助が来るまでの、自分や近所の助け合いの準備、日常のコミュニティづくりや人間関係の強化などを行っています。

さらに、地区内の危険個所の確認などのまち歩き、地区防災マップの作成、更新維持。防災関連設備、備品の維持管理。防災関連知識の学習会（内部学習会や外部施設見学・体験）なども行っています。



街歩き



自主防災マップ作成



学習会の様子



災害時に玄関先等へ掲げるタオル

富竹新田3区自主防災会から

突然襲ってくる自然災害から逃げることはできませんが、備えることはできます。このマップを使って、皆さんのご自宅の周りがどんな地域でどんな危険が潜んでいるか。避難場所はどこか。避難所までどう逃げたらいいか。家族や近所の方々と話合って、できれば実際に歩いてみてほしいと思います。

能登半島地震では、亡くなられた方の多くが、倒壊家屋などの下敷きになったことによる「圧死」でした。まずは倒壊を防ぐ方法、家具の固定など、できることから始めてほしいです。

備えは「できることから少しずつ」が良いと思います。備えるという心構えが、今日襲ってくるかもしれない災害から、自分の、家族の、ご近所の命を守り救うことにつながると考えます。

防災さんく。情報誌

防災会では、年に3回情報誌を発行し、全戸配布しています。

